

モルックとは

『モルック』とは、フィンランドの伝統的なゲーム（kyykkä）を元に、Tuoterengas 社によって 1996 年に開発され、子どもも大人も、また老若男女も楽しめるアウトドアスポーツです。母国フィンランドでは、サウナとビールを楽しみながらプレーする気軽に魅力的なスポーツです。

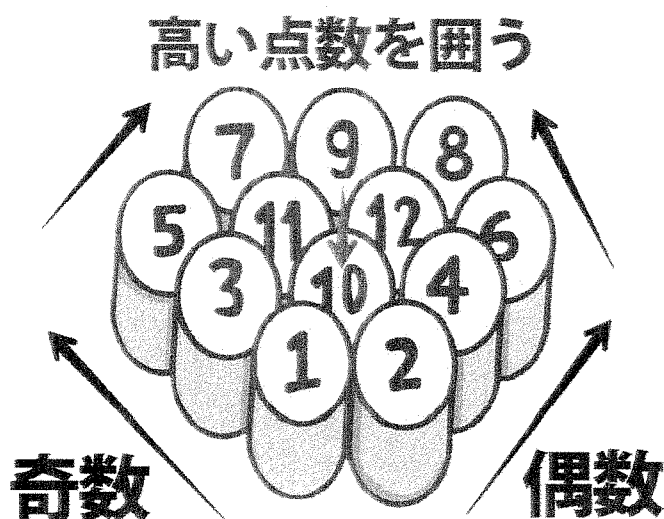
モルックのルールについて

モルックは、モルックを投げて倒れたスキットルの内容（本数または表示されている数字）によって、50 点ピッタリになるまで得点した方が勝ちというとてもシンプルなルールです。

ただし、50 点を超えてしまった場合は、25 点へ減点され、ゲームが継続されます。また、チーム内で 3 回連続でスキットルを倒せなかったなどのミスが続いた場合は、得点は 0 点となり、失格となります。

モルックの並べ方

数字の「1 と 2」を 1 列目に 2 つ並べて、2 列目に「3・10・4」、3 列目に「5・11・12・6」、そして 4 列目に「7・8・9」を並べます。これがスキットルの公式の並べ方です。



モルックの基本的な流れ

①モルックを投げる位置にモルッカーリを設置し、そこから3～4m離れたところにスキットルを並べます。

投げる際、モルッカーリに触れたり、踏み越えたりした場合、ファウルとなり0点で、次のチームに交代となります。また万が一モルックを落とした場合は、1投とカウントされ次のチームに交代となるので注意しましょう。

②2チーム以上で対戦するので投げる順番を決め、順番にモルックを投げ、スキットルを倒します。

③スキットルは、倒れた場所で再び立て直します。ゲームが進むにつれ、スキットルが広がり、狙うのが難しくなります。いずれかのチームが50点を先取した時点でゲーム終了となります。

※モルックは得点の数が特徴的です。

スキットルが複数本（2本以上）倒れた場合

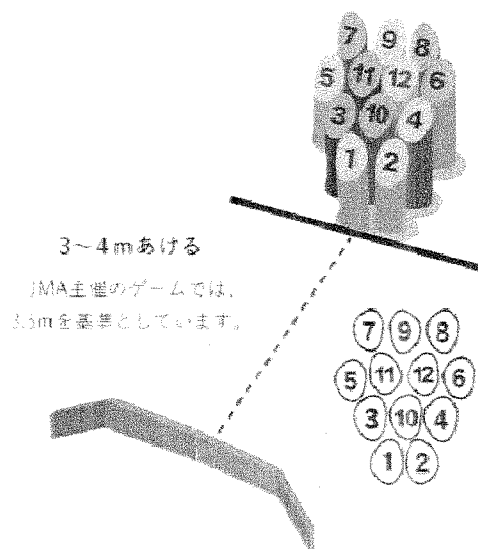
倒れた本数がそのまま得点になります。スキットルが5本倒れた場合は、5点が得点になります。

スキットルが1本のみ倒れた場合

スキットルが1本のみ倒れた場合は、倒れたスキットルに表示されている数字が得点になります。

スキットルが完全に倒れていない場合

スキットル同士が重なるなどして完全に倒れていないスキットルは点数に反映されません。



モルックの投げ方とコツ

モルックは基本下手投げで、バウンドさせたり転がしたりしてスキttlを狙います。

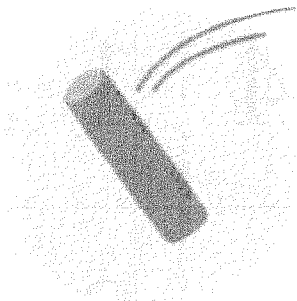
縦に持ったり、逆手に持ったりと、その時の状況に応じて投げ方を変えるなど戦略的な一面もあります。

モルックのゲーム開始1投目は、まとまったスキttlを倒すため、力強くモルックを投げましょう。モル

ックの重心が安定するように水平に握り、屈伸を利用したり、腕の力で強く投げたりするのが、コツです。

その後、スキttlが広がり散らかった状況で1本だけ倒したい場合は、モルックを縦に握り、倒したいス

キttlを狙うのコツです。

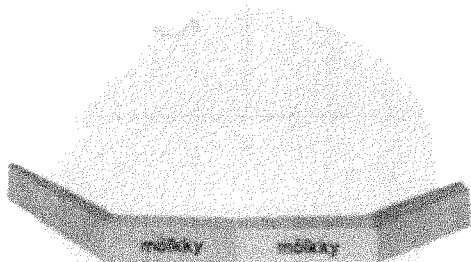
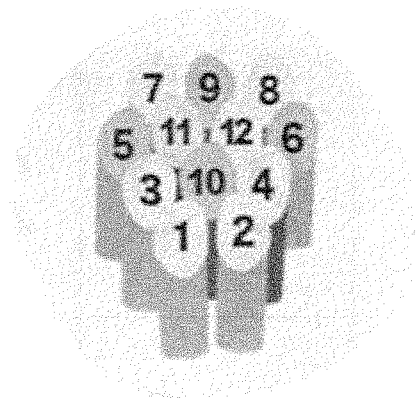


←モルック

投げる棒のことをモルックという。下手投げで行うのが基本。

スキttl→

木製のピン。モルックを投げてスキttlを倒す。



←モルッカーリ

モルックを投げる位置を示す。

地面において使用します。

本来は50点ルールですが今日は30点にし、30点を超えてしまったら、15点から再スタート

下の数字に●を置き点数を足しながら得点表に使って下さい

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30